

就農を目指して模擬経営実習に取り組んでいます

農業技術大学校では、これまで卒業論文として、経営技術プロジェクトの履修を必須としていましたが、今年度から新たに模擬経営実習が加わり、どちらかを選択できるようになりました。この実習は、学生自らが実際の経営を想定した経営計画を作成し、その計画に沿って作物の栽培管理や肉用牛の飼養管理に取り組み、経営管理や労務管理の感覚を養うことを目的としています。

野菜・花きコース花き専攻の学生1名が模擬経営実習に現在取り組んでいます。品目はトルコギキョウを4品種、実習規模はビニールハウス2aで、4～6月にかけての出荷を目指して日々管理を行っています。事前に実習規模に応じた収支計画を作成し、その計画内容を検討し、作業計画・記録、必要経費、販売金額等の記録を取りながら、経営分析を行い、最終的に報告書として取りまとめます。

この学生は、就農時をイメージしながら、栽培技術と効率的な作業方法に加え、経営面からもアプローチし、卒業後の就農に活かせるよう自主的に取り組んでいます。



トルコギキョウの播種作業（R2. 8月下旬）



施設内での管理作業（R3.1月下旬）